

# 「ポピュラーな耳の疾患 急性低音障害型感音難聴」

治癒しやすいけれど  
再発しやすい疾患

「急性低音障害型感音難聴」難しそうな病名ですが、実はとても頻度の高い病気です。突然聞こえの変調を感じるころから発症します。自然に治ることも珍しくありませんが、早期の診察が必要な疾患です。以前は突発性難聴の部、と考えられていましたが、突発性難聴は重篤な難聴を伴う疾患で、一生に回しかかりません。しかし、急性低音障害型感音難聴は治癒しやすいのですが、再発しやすい疾患であるため、区別するようになりまし。

鼓膜から小さな骨を通して伝わった振動は、内耳の中の蝸牛管（かぎゅうかん）というリンパ液が詰まった組織に伝わり、中のリンパ液を揺らします。その揺れが聴覚細胞を刺激し、神経に伝えます。その聞こえに関わる内耳がむくむくすることによって発症する疾患です。内リンパの圧力が増す「内リンパ水腫」という病態です。男女を問わず発症しますが、高齢者にはあまり見られません。どちらかというと、女性に多い傾向があります。この病気の原因ははっきりわかっていませんが、ストレスや寝不足などで誘発されると言われています。

人間の耳は20ヘルツから20000ヘルツくらいの周波数の音を感じることができ、その病気が500ヘルツ以下の低音領域の音が突然聞こえにくくなります。耳が詰まった感じや高い音が響く、子どもの声を聞くのが苦痛になるといった症状を伴います。飛行機などに乗って起こる気圧の変化や風邪を引いたり、鼻が詰まると耳が詰まったような感じになる「耳管狭窄症」の症状と似ていますが、耳管狭窄症の症状には高い音が響くような感じはありません。

**重篤な疾患の突発性難聴と  
区別するために速やかに病院へ**

治療は内耳のむくみをとる治療になります。脳圧を下げる点滴や飲み薬が中心となります。治癒しやすい病気ですが、突発性難聴ではないことを確認するために、自己判断はせず、みやかに耳鼻科を受診してください。突発性難聴だった場合は、1週間以内に治療を開始しないと聴力が戻らなくなってしまう可能性があります。また、こじれて悪化するのを防ぐために、エール病への移行も考えられます。医師の指示に従い、きちんと治療をすることが大切です。再発しやすい疾患なので、寝不足やストレスをためない規則正しい生活を心がけてください。

Hospital Information

医療法人社団 根本耳鼻咽喉科クリニック

難聴やアレルギー性鼻炎、中耳炎、味覚障害、めまい、ダイバーの耳の不調など、幅広く高度な診療を行う。院内には大学病院並みの高度な検査設備を完備。0歳児からの聴力検査、言葉の指導、声変わり期の機能障害の訓練などのほか、耳鼻咽喉科の視点からメタボリックシンドロームにも対応。頸動脈エコー検査、血管派波検査、体組成検査などによる動脈硬化検査を実施している。

札幌市豊平区平岸4条14丁目2-3  
☎011・815・3387  
<http://www.nemoto.or.jp>

アドバイザー

根本耳鼻咽喉科クリニック  
院長 根本 聡彦 先生

1981年若手医科大学医学部卒業、同大学耳鼻咽喉科入局、同大学助手、八戸赤十字病院耳鼻咽喉科部長、耳鼻咽喉科麻生病院診療部長を経て入院。北海道大学耳鼻咽喉科専門、元若手医科大学非常勤講師、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本気管支食道科学会認定医、日本抗加齢医学会専門医、医学博士、ダイビングドクター。



医療法人社団

## 根本耳鼻咽喉科クリニック

心のある言葉で、心のこもったコミュニケーション。

患者さん一人一人が安心を得られるコミュニケーションを心がけ、最前線で高品質の医療を提案する事をモットーに診療しています。

TEL.011-815-3387 FAX.011-815-8707

札幌市豊平区平岸4条14丁目2-3 (地下鉄南北線南平岸駅より徒歩1分)

診療時間  
月・水・金 / AM10:00~PM 1:00 PM3:00~7:00  
火 / AM10:00~PM 1:00 PM3:00~5:00 (火曜午後はお断り)  
土 / AM 9:00~AM11:30 PM1:00~3:00  
休診日 木・日・祝祭日

<http://www.nemoto.or.jp>



院長 根本 聡彦  
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医  
日本気管支食道科学会認定医  
日本抗加齢医学会専門医  
日本聴覚化学会会員  
日本睡眠医学会会員